

コンピュータチェック事例コード

48SJ991190201 その他 3事例グループ化

コンピュータチェック内容

外来・在宅ベースアップ評価料（初診時等）が算定された同日に算定要件となる診療行為（初診料等）の算定がない場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）の「１」については初診料、小児科外来診療料の「１」の「イ」若しくは「２」の「イ」又は小児かかりつけ診療料の「１」の「イ」の「（１）」、「１」の「ロ」の「（１）」、「２」の「イ」の「（１）」若しくは「２」の「ロ」の「（１）」を算定した日に限り、１日につき１回算定できるとされています。

その他の同一事例グループについても、留意事項通知において算定要件となる診療行為が示されております。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)のうち、いずれかを算定している
目視対象レセプト1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

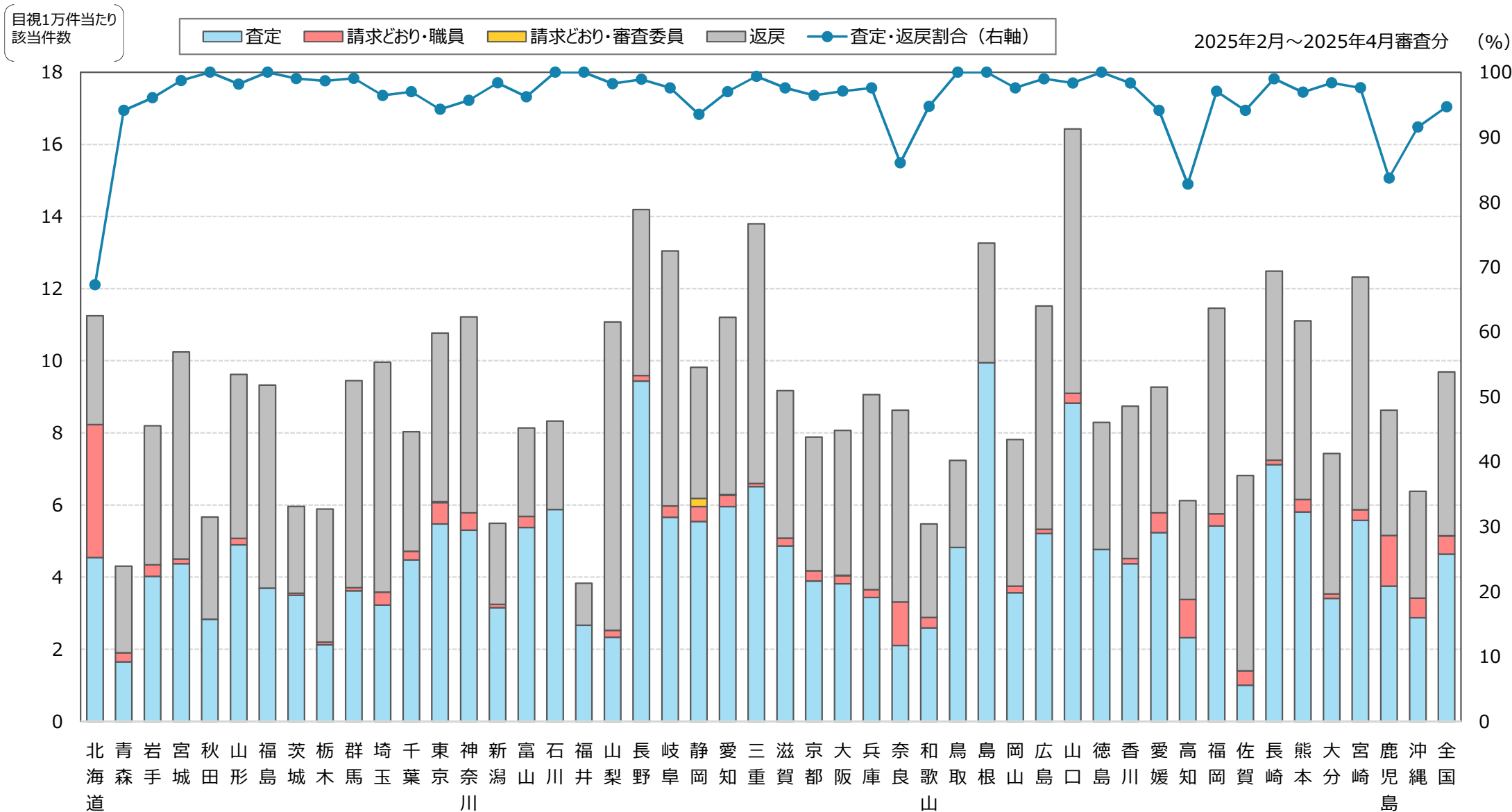
審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 94.69%

➤ 検証対象都道府県 6

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	北海道、高知、鹿児島、奈良、東京、神奈川	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	北海道、鹿児島、奈良、高知、東京、神奈川	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	東京	//

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	8,593件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	8,137件
検証を必要とする審査	請求どおり	456件



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数